

令和7年度 韓国慶尚北道・嶺南大学韓国語研修プログラム

9月10日 報告書

広島大学 横峯果苗

ご挨拶

大邱では木々の葉も色づき始め、秋晴れの日が続いております。広島はいかがお過ごしでしょうか。

改めまして、広島大学教育学部教育学系コース4年の横峯果苗と申します。現在、「令和7年度 韓国慶尚北道・嶺南大学韓国語研修プログラム」に広島県代表として参加し、嶺南大学韓国語教育院にて日々韓国語を学んでおります。大学1年次に履修した授業をきっかけに韓国へ関心を抱くようになり、以来、日韓交流活動に継続して参加して参りました。そのような私にとって、現地で彼らの言葉を学び、文化に触れ、共に暮らす機会を得られたことは大変光栄であり、今後も日韓関係の発展に貢献したいという想いを一層強くする契機となっております。

さて、9月から2月までの派遣期間中、2か月に1度の頻度で報告書を提出させていただきます。現地での暮らしを通して見える「生活の場としての韓国」を、私の視点からお伝えできれば幸いです。

報告

○嶺南大学韓国語教育院での生活

はじめに、嶺南大学韓国語教育院のカリキュラムについて簡単にご紹介いたします。本教育院では、1級（初級）から6級（上級）までのクラスが設けられており、TOPIKの取得状況やレベル分けテストの結果に基づいてクラス分けが行われます。小テスト4回、中間試験、期末試験などを経て、約2か月かけて1つのレベルを修了します。私は1級からのスタートとなり、現在は1級の期末試験に向けて勉強に励んでおります。1級ではハングルの読み書きから始まりました。初めて学ぶ韓国語に感動を覚える一方で、日本語にはない発音も多く、聞き取りや発音に難しさに戸惑いを覚えながらのスタートでした。授業が進むにつれ、徐々に発音や聞き取りにも耳が慣れてきましたが、毎日単語や文法を新しく学ぶたび、知らないことの多さに驚き、韓国語マスターへの道のりの長さを実感する日々です。しかしながら、授業で学んだ韓国語を日常生活の中で少しでも使えたときの嬉しさは格別です。街中の標識の意味が理解できた瞬間など、自身の成長を実感する場面が増えてきました。

この2か月間は、座学に加えて校外学習や映画鑑賞会などを通して、韓国語だけでなく韓国文化の理解を深める機会もありました。校外学習では、「聞慶（문경、ムンギョン）」という映画やドラマの撮影地として知られる町を訪れました。歴



史的な建造物や広大な草原が広がる景観の中で、朝鮮時代の雰囲気を肌で感じる事ができました。

また、映画鑑賞では私たちは「EXIT（EXIT）」という韓国映画を鑑賞しました。完全に理解できたわけではありませんでした。授業で学んだ表現が登場すると字幕なしでも理解できる部分があり、学びの成果を実感しました。また、教科書では触れられない生きた韓国語に触れることができ、とても有意義な時間となりました。



このように、座学や体験学習を通じて韓国語や韓国文化への理解を少しずつ深めております。まだまだ未熟ではありま



すが、次は2級に進級する予定です。2級でも引き続き、多様な経験を通して学びを深めてまいります。

○学校外での韓国生活

嶺南大学韓国語教育院では週末やターム間に1~2週間ほどの休暇が設けられています。今回は、その期間を利用して訪れた慶尚北道安東市にある UNESCO 世界文化遺産「河回村 (하회마을、ハフエマウル)」をご紹介します。この村には

伝統的な茅葺きの家屋が集落として残されており、当時の人々生活に想いを馳せる貴重な時間となりました。また、この村は仮面の名所としても知られており、隣接する資料館にも足を運びました。村の劇で使用されていた仮面のほか、世界各国の仮面が展示されており、人々が仮面に込めてきた想いの違いに想像を巡らせながら見学を楽しみました。さらに、安東市は「찜닭 (チムタク)」という鶏肉料理の発祥地としても有名です。昼食には安東市内にあるチムタク専門店が立ち並ぶ市場で本場の味を堪能しました。



最後に

現地での生活を通して、短期間の訪問では見えてこなかった文化の違いや言語の壁に戸惑うこともございますが、そのたびに人びとの温かさに支えられる日々を送っております。優しく日本語で挨拶をしてくださったり、私の拙い韓国語の意図を汲み取ってくださったりと、多くの方々のご厚意によって留学生活が成り立っております。今日の日韓関係を見渡すと、市民間での人的交流が活発に行われ、また政治的にも首脳間の対話が継続的に行われていることから、比較的穏やかな関係性が維持されているように感じます。しかしながら、依然として日韓間に複雑な問題が存在していることもまた事実でございます。私自身の留学生活が持続可能な日韓関係の構築に微力ながらも寄与できるよう、主体的に学び続ける姿勢を大切にしながら、残りの留学生活を過ごしてまいります。ここまでお読みいただきありがとうございます。最後に、この2カ月間で学んだ成果として、私の韓国語作文を共有させていただきます。文法・語彙力など未熟な点多々ございますが、学習の「今」を最も率直に表しているものと考えております。次回の報告書にも同様の成果物を掲載する予定です。韓国語研修の醍醐味である韓国語学習の進捗もお楽しみいただけますと幸いです。末筆ながら、季節の変わり目につき、どうぞお体ご自愛ください。また次回の報告書でお目にかかれることを楽しみにしております。

